年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（3学年用） 教科　　国語　　科目　古典演習

教　科：　国語　　科　目：　古典演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：（１～８組：大津）

使用教科書：（ 筑摩書房　「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め，言語感覚を磨き，我が国の言語文化を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　『大鏡』「肝試し」 【知識及び技能】 助動詞の性質と使い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文法をもとに物語の流れをおさえる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語を読んだ感想を言葉でまとめることができる。	・二年次の学習事項の復習 ・助動詞の性質 ・各品詞の接続 ・物語の内容読解	○	○	○	・助動詞の活用や用法について理解している。 ・単元の授業内で学習した文法事項などをもとに、物語の流れを的確に理解している。 ・物語を読んでえた感想や考えを自身の言葉でまとめることができている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 単元　『淮南子』「塞翁馬」 【知識及び技能】 漢文の句法や語彙などを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の特性に合わせて読解を行うことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文独特の調子や物語の展開の仕方に親しむ。	・漢文の句法や文法 ・漢文作品の特徴を踏まえて物語の流れをおさえる。 ・漢文作品独特の調子を感じて、日本の古典作品との違いをふまえて漢文の世界に親しむ。	○	○	○	・作品のジャンルや性質について理解している。 ・・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・中国の言語文化が、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2学期	C 単元　『紫式部日記』　「和泉式部と清少納言」 【知識及び技能】 古典における敬語を理解する。 古文単語や文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物に対して筆者が抱いている感情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 古典世界の人々の暮らしについて理解しようとする。	・古典における敬語の意味 。敬意の方向性 ・筆者の考えや感情を踏まえた本文の読解	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。		1		8
	定期考査		○	○	○					1
	A 単元　『史記』「四面楚歌」 【知識及び技能】 漢文の独特の調子や表現に触れて語彙を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の背景事情を踏まえて内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の中の人物の生き方に対し、自分の考えをもとうとしている。	・漢詩の種類と押韻を理解する。 ・物語の流れと、登場人物の感情をおさえる。 ・登場人物の生き方や考えについて、自分の意見をもち、それを言葉にまとめる。	○	○	○	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・歴史上実在する人物の生き方に興味・関心を持っている。				12
	定期考査									20
										合計 78